

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年5月25日～2017年5月31日)

平成 29 年(2017 年)6 月 2 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p><b>政治</b></p> <p>最新の世論調査結果                      民主主義擁護委員会(KOD)に新代表が選出                      ドゥボルチク国防副大臣, 軍による外国人関連情報収集について言及                      検察局, コパチ前首相への事情聴取を要請                      対テロ特殊部隊, 消防と合同訓練を実施                      最高裁, ドゥダ大統領による恩赦に関する決議を採択                      ドゥダ大統領, NATO 首脳会合出席                      ドゥダ大統領及びヴァシチコフスキ外相, GLOBSEC 2017会合出席                      アフガニスタン展開中の特殊部隊, 捕虜救出作戦を支援                      ドゥダ大統領, ジョージア訪問                      アフガニスタンで発生したテロ事件に対する外務省声明                      国防大臣, スロバキア国防相と会談                      ノーブル・ジャンプ演習, 開始                      バルトトップス演習, 開始</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p><b>経済</b></p> <p>シマインスキ外務副大臣のユーロ導入に関する見解                      電気自動車導入をめぐる動き                      モラヴィエツキ副首相, 2018年経済成長率予測を発表                      4月の失業率, 発表                      年金受給年齢引き下げ関連政策                      2017年第一四半期 GDP 成長率, 発表                      5月の物価上昇率, 発表                      NGK, 第二工場開所式典を開催                      Impact 2017 に首相・副首相出席                      ドゥダ大統領, クリーンコール技術を評価</p>								
<p><b>大使館からのお知らせ</b></p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意                      欧州でのテロ等に対する注意喚起                      「たびレジ」への登録のお願い                      パスポートダウンロード申請書の御案内                      大使館広報文化センター開館時間                      文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館                      ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 <a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp">http://www.pl.emb-japan.go.jp</a></p>								

## 政 治

## 内 政

最新の世論調査結果【29日】

29日に発表された世論調査機関IBRiSによる調査結果によると、与党「法と正義」(PiS)が33.5%の支持率で首位を獲得した。第2位は最大野党・市民プラットフォーム(PO)で支持率26.1%、第3位は「クキス'15」で同14.1%、第4位は「近代」で7.9%の支持を獲得した。

民主主義擁護委員会(KOD)に新代表が選出【29日】

民主主義擁護委員会(KOD)の代表選挙がトルン市にて開催され、現代表のキヨフスキ氏に代わり、クシチュフ・ワジンスキ氏が新代表に選出された。

ドゥボルチク国防副大臣、軍による外国人関連情報収集について言及【29日】

西ポモルスキ県知事が軍からの要請に基づき県内に在留する外国人について情報収集を指示していたことに関し、ドゥボルチク国防副大臣は、昨今の欧州連合の状況を鑑みるとポーランド領内に在留する外国人に関して軍が情報収集するのは自然なことである。最大野党・市民プラットフォーム(PO)は、あらゆる事案を与党「法と正義」(PiS)に政治的に関連付けて人々に恐怖を植え付けようとしているが、公共の安全を確保するためには情報収集が必要である旨コメントした。

検察局、コパチ前首相への事情聴取を要請【30日】

検察局は、2010年に発生したスモレンスク政府専用機墜落事故の際、犠牲者の検死が適切に行われなかった件に関し、コパチ前首相(PO所属、当時は保健相)に対して4時間にわたる目撃者としての事情聴取を行った。スヘティナPO党首は、本要請は政治的動機に基づく前政権に対する復讐である旨述べた。

対テロ特殊部隊、消防と合同訓練を実施【30日】

30日、国家警察本部は、ポーランド警察庁の対テロ特殊部隊と消防士の合同訓練がヴィエルコポルスキエ県キェルツェで4日間にわたって実施される旨発表した。同訓練は緊急事態発生時の組織間連携深化を目的としたもので、ポーランド全土から60人の特殊部隊員が参加する。

最高裁、ドゥダ大統領による恩赦に関する決議を採択【31日】

最高裁判所は、2015年11月にドゥダ大統領が、カミンスキ首相府特殊機関担当大臣の反汚職庁(CBA)長官時代(2005~07年のPiS政権時)の権力濫用に関する罪に対し、最終判決の前に恩赦を与えたことについて、大統領の恩赦の権限は司法プロセスが完了した案件にのみ行使可能であり、最終判決前の恩赦は無効である旨の決議を採択した。

## 外交・安全保障

ドゥダ大統領、NATO首脳会合出席【25日】

25日、ドゥダ大統領は、ブリュッセルにて開催されたNATO首脳会合に出席し、ストルテンベルグNATO事務総長と会談を行い、NATO軍のポーランドでのプレゼンス、中東情勢、ロシアの動き及びNATOの活動について意見交換したほか、米、英、仏の首脳及び独首相とも会談を行った。

ドゥダ大統領及びヴァシチコフスキ外相、GLOBSEC 2017会合出席【26日】

26日、ドゥダ大統領は、ブラチスラバにおいて開催された安全保障に関するGLOBSEC 2017会合に出席し、地域安全保障及び地域協力についての基調講演を行った。ヴァシチコフスキ外相は、V4諸国の外相が出席した「V4による新たな欧州の見方」セッションに参加した。

アフガニスタン展開中の特殊部隊、捕虜救出作戦を支援【26日夜~27日】

30日、マチェレヴィチ国防大臣は、26日夜~27日にかけてアフガニスタン政府軍(ATF-444)が同国南部のヘルマンド県で行った捕虜救出作戦について、アフガニスタン展開中のポーランド特殊部隊(SOAT-50)が支援を行ったと発表した。本作戦によって11名の捕虜が救出され、負傷者は発生しなかった。

ドゥダ大統領、ジョージア訪問【29-31日】

29-31日、ドゥダ大統領は、ジョージアとの国交樹立25周年に際し同国を訪問し、30日、マルグヴェラシヴィリ・ジョージア大統領と会談を行い、二国間関係、NATO・EUとの関係及び経済における協力について意見交換を行うと共に、両国の協力強化に関する共同声明を発表した。

アフガニスタンで発生したテロ事件に対する外務省声明【31日】

31日、外務省は、同日に発生した400名以上の

死傷者を出したカブールでのテロ事件に対し、同犯行を非難すると共に、犠牲者及びその家族に対する追悼の声明を発表した。

**国防大臣、スロバキア国防相と会談【31日】**

31日、マチェレヴィチ国防大臣は、スロバキアのガイドス国防大臣と会談を行い、V4の安全保障協力、EUの共通安全保障協力、軍事技術協力等について意見交換を行った。

**ノーブル・ジャンプ演習、開始【31日～6月22日】**

31日～6月22日、ブルガリア、ルーマニア等で、NATOの高度即応統合任務部隊(VJTF)兵站支援能力の向上を目的としたノーブル・ジャンプ演習が実

施される。同演習には、英国の第20機甲旅団、米国、ポーランド、ドイツ、スペイン、オランダ、ルーマニア、ブルガリア等の6月1日から同VJTF待機部隊に指定される部隊の人員約2,000名、車両500両が参加する。

**バルトトップス演習、開始【6月1日～16日】**

6月1日～16日、バルトトップス演習がポーランドのシチェチン、ドイツ等のバルト海で開催される。同演習には、米、英、独、仏、蘭の他、ポーランド、北欧4か国、バルト3か国等が参加し、人員4,000名、艦船50隻、航空機50機等が参加して、共通海上行動、哨戒、対機雷戦、防空等の訓練が行われる。

**経 済**  
**経済政策**

**シマインスキ外務副大臣のユーロ導入に関する見解【29日】**

欧州を担当するシマインスキ外務副大臣は、投資に関する会議での質問に答え、ユーロ導入の条件に関し、システムの予見可能性、経済と通貨同盟の安定性、政治的見解ではなく経済的利益を考慮したシステム統合を挙げ、単一市場における自由の確保が必要との見解を示した。なお、世論調査では、回答者の3分の2以上がユーロ導入に反対している。

首相府は公用車の買い換えに反対しており、例外扱いを求めている。また、財務省は、電気自動車の道路バスレーンの使用提案にも反対している。

**モラヴィエツキ副首相、2018年経済成長率予測を発表【31日】**

モラヴィエツキ副首相は、ポーランド国営通信に対し、2018年予算編成の前提となる政府経済見通しで、経済成長率を3.8%、物価上昇率を2.3%と見込んでおり、失業率はさらに改善する可能性がある旨述べた。同副首相は、この見通しを現実的なものと指摘した上で、今後の不確定要素として世界経済の動向と定年退職者数を挙げている。

**電気自動車導入をめぐる動き【29日】**

エネルギー省は、2025年までの電気自動車100万台の導入、少なくとも半数の公用車の電気自動車への買い換えを目指しているが、財務省、外務省、

**マクロ経済動向・統計**

**4月の失業率、発表【25日】**

中央統計局(GUS)によれば、4月の失業率は7.7%と、3月の8.1%から更に改善した。登録失業者数は125万2,700人とされる。政府は、失業率について2017年中に5.7%、2018年に5.0%、2020年には4.0%に順次改善すると予想している。

でいる。

**2017年第一四半期 GDP 成長率、発表【1日】**

中央統計局(GUS)は、2017年第一四半期のGDP成長率について、5月16日に発表された速報値と同一の対前年同期比4%と発表した。民間消費の伸びと失業率減少、児童手当が主要因であり、第二四半期についても同水準に保たれる見通しが示された。

**年金受給年齢引き下げ関連政策【31日】**

家族・労働・社会政策省によれば、定年に達した者の約17%が働き続けることを望んでいる。政府は年金受給年齢引き下げに関する情報提供キャンペーンを実施中であり、今後は仕事を継続する定年年齢者の割合が20-25%まで上昇すると見込ん

**5月の物価上昇率、発表【1日】**

中央統計局(GUS)は、5月の物価上昇率について対前年同月比1.9%とする速報を発表した。4月の2.0%からほぼ横ばいとなる。

## ポーランド産業動向

**NGK、第二工場開所式典を開催【30日】**

自動車排ガス浄化用セラミックスフィルターを製造する日本特殊陶業(NGK)は、カトヴィツエ近郊のドンブロヴァ・グルニツァに第二工場を建設した。30日には記念式典が行われ、松富大使や日本ガイン大島社長等も出席した。

クラクフでITの国際会議 Impact 2017 に出席したシドゥウォ首相は、政府はポーランドを若々しく、イノベーションにあふれ、現代的な国とすることを目標にしていると挨拶した。同会議には、モラヴィエツキ副首相を始めとする3人の副首相も出席し、Industry 4.0に関連する、いわゆる4.0市場に積極的に取り込んでいく旨述べた。

**IT・Impact 2017 に首相・副首相出席【1日】**

## エネルギー・環境

**ドゥダ大統領、クリーンコール技術を評価【29日】**

ドゥダ大統領は、ラジオ番組のインタビューの中で、ポーランド政府が進める石炭火力発電の維持に関し、持続的な開発を続けるためには環境配慮

の要素も必要であり、石炭を環境に優しい形で利用し続けるにはクリーンコール技術の活用が非常に重要である旨指摘した。

## 大使館からのお知らせ

**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

**欧州でのテロ等に対する注意喚起**

5月22日、英国マンチェスターでのテロでは80名を越える死傷者が発生しました。それ以前も、スウェーデン(ストックホルム)、ロシア(サンクトペテルブルク)、英国(ロンドン)、ドイツ(ベルリン)等でテロが発生しています。

5月27日から6月27日頃までは、イスラム教のラマダン及びラマダン明けの祭りがあります。イスラム過激派組織ISIL(イラク・レバントのイスラム国)は、2015年及び2016年にラマダン月の間にテロを呼びかける声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去2年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しています。

夏にかけて、欧州ではスポーツ大会、音楽フェスティバル、独立記念日を祝う行事などのイベントが各地で予定され、英仏では選挙も予定されています。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1)最新の関連情報の入手に努める。

(2)以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3)上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

### パスポートダウンロード申請書の御案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### 【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00，Eメール：[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

## 文化行事・大使館関連行事

### 【予定】第5回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月3日(土)11時30分～19時】

ポーランド商工会、日本人会、日本大使館主催による第5回「日本祭り」がワルシャワのスウジェフ文化センターで開催されます。和太鼓、舞踊、伝統音楽からポップまで様々なステージ演目、武道、着付け、書道、マンガ、生け花、けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に、観光情報コーナーや企業展示、日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所：ワルシャワ，Służewski Dom Kultury，ul. Jana Sebastiana Bacha 15

詳細：

フェイスブック <https://www.facebook.com/MatsuriPiknikJaponski>

ウェブサイト <http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

### 【予定】ビドゴシチにおける剣道選手権大会【6月3日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第18回ポーランドジュニア剣道選手権・第13回ポーランド青年剣道選手権・第3回ポーランド子供剣道選手権大会』が開催されます。

開催場所：クヤヴィ＝ポモージェ県，ビドゴシチ市，Zespół Szkół nr 10, ul. Karłowicza 2

詳細：<http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>

### 【予定】ニコラウス・コペルニクス大学日本学科2年生の日本語劇【6月4日(日)17時30分～】

トルン市にて、ニコラウス・コペルニクス大学日本学科2年生による日本語劇「アマテラスの日食」が上演されます。スサノオの言葉にヘソを曲げたアマテラスが天岩戸に引きこもり全世界が停電して暗闇となったため神々が無い知恵をしぼってアマテラスを誘き出せるか…。それは観てのお楽しみ！

劇場：Akademickie Centrum Kultury i Sztuki: OD NOWA ul. Gagarina 37a, Torun

主催：ニコラウス・コペルニクス大学日本学科

### 【予定】第2回国際極真空手選手権大会 IKO Bialystok 2017【6月10日(土)】

ビャウイストク市にて、ビャウイストク空手極真クラブ「カンク」主催による『第2回国際極真空手選手権大会 IKO Bialystok 2017』が開催されます。

開催場所:ポドラシエ県, ビャウイストク市, ul. Ks. Suchowolca 26

詳細:<http://kyokushin.bialystok.pl/>

**【予定】第7回国際空手選手権大会 Polish Open 「Galizia Cup」【6月10日(土)】**

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第7回国際空手選手権大会 Polish Open 「Galizia Cup」』が開催されます。

開催場所:レジャイスク県, レジャイスク市, ul. Skłodowskiej 6

詳細:<http://www.karate.lezajsk.pl/>

**【予定】日本の波ー日本文化祭【6月10日(土)~11日(日)14時~】**

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『日本の波ー日本文化祭』が開催されます。武道デモンストレーション, 地唄舞, 落語, 様々なワークショップ(着付け, 書道, 三味線, 尺八, 化粧), 書道展, 折り紙展等が予定されています。

開催場所:ドルノシロンスキエ県, ヴロツワフ市, IMPART, ul. Mazowiecka 17

詳細:<http://www.fundacja-nami.pl/>

**【予定】国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2017【6月23日(金)~24日(土)】**

クロトシン市にて、ポーランド相撲連盟主催による『国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2017』が開催されます。

開催場所:ヴィエルコポルスカ県, クロトシン市

詳細:<http://www.sumo.org.pl>

**【予定】プラガ区クパワの夜の七夕【6月24日(土)12時~19時】**

ワルシャワ市にて、喜びの公園主催による『プラガ区クパワの夜の七夕』が開催されます。日本とポーランドの手作り品の販売ブース, 様々なワークショップ(折り紙, 書道, 紙芝居, 着付け), 日本とポーランドのダンスパフォーマンスなどが予定されています。

開催場所:マゾフシエ県, ワルシャワ市, Centrum Kreatywności, ul. Targowa 56

詳細:<https://www.facebook.com/events/208805306301711/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント, 困ったことなど, 皆様に伝えたいと思われる情報があれば, 下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など, 内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」, 「送付先メールアドレスを変更したい」, 「配信を停止したい」等の依頼につきましては, 下記のアドレスまで御連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 [news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (御連絡は電子メールでお願いします。)